

みらいを創る、牧山ひろえがめざす「これから」

自分の生い立ちを通して私は、2人の子供の母親として、そして18年間の政治家としての経験や神奈川県、日本、世界各地との様々な出会いを通して、こんな日本にしたいというビジョンを持っています。

牧山ひろえ



若い世代と話していると、自分たちの将来に悲観的な意識を持っています。日本人に生まれたことを不運だと感じているのです。私は政治家になって以来、一貫してオリーブグリーンの服を着続けています。オリーブに象徴される平和と広い意味での良い環境を子どもに遺したいとの思いからです。私は若い世代を取り巻く閉塞感を打破し、「日本で生まれて良かった」と思わせたいと強く感じます。

では具体的にはどうするか。まずは何と言っても教育です。人生のスタートラインは平等でなければならないというのが私の持論です。そのためには教育の無償化を拡大し、教育格差を是正すること。加えて、保育士や教員の待遇を抜本的に改善し、今こそ少人数学級を実現しなければなりません。

生活の不安の解消も政治の使命です。4月までに値上げが予定されている食品は6000品目余りに上ります。食品は生活に欠かせない必需品であり、これは最早非常事態です。この狂乱物価高が収束するまで、食料品に係る消費税をゼロ%にすることを提案します。

また、小泉政権以来の誤った規制緩和路線は大量の非正規労働者を生み出し、実質賃金が低迷する要因となりました。正規雇用を原則とする雇用基本法の制定を目指します。

幸福には健康長寿が欠かせません。長年の海外生活から、日本の宝である国民皆保険を堅持することの重要性を痛感してきました。介護サービスの持続性についても、深刻な危機意識が必要です。

平和は外交や安全保障政策の究極の目的です。平和創造のためのツールとして議員外交を、より積極的に推し進めます。

地震大国であり、地球規模の異常気象の影響により災害が激甚化している我が国は、防災先進国であらねばなりません。これだけの災害に直面しながら、必ずしもそうならない現状を分析し、改善に繋げるべきです。

私が初代ネクスト法務大臣として活動する中で、日本を世界に誇れる人権と民主主義の先進国に変えていきたいと切望するようになりました。若者が未来を形作る機会を逃さないように、ノルウェー等の先進的かつリアルな主権者教育を取り入れるべく訴え続けます。

地元神奈川県は日本の縮図と言える多様性を持った地域です。今まで述べたような野心的な政策を積極的に神奈川県で展開し、世界一住み良い地域・神奈川県であると誇れるようにして参りたいと思います。



牧山ひろえの生い立ちと政治を志したきっかけ

祖父母の暮らす高崎市に転校した頃

母子家庭で育つ。小学校で凄惨ないじめを受け転校。鉄工所を営む祖父母に預けられる。父が住む海外では極貧や迫害による悲惨な現実を目の当たりにする。それを機に国連やアムネスティなど人道支援の活動に参加した。

思春期の体験から、27歳の時に国境なき医師団などにワクチンを送る団体「葡萄会」を立ち上げる。「命を守る活動をもっと大きな規模で」という思いが、民主党の公募に応募するきっかけとなる。

先の選挙で与党は過半数割れとなりました。今の政治は変えなければならないという民意の表れに答えなければならない。そのためには、選挙の結果によって、政治の景色が変わることを、国民の皆さんに体感して頂く。このような大きな流れを作り成果を積み重ねることで、悲観的だった若者たちに、この社会と将来を肯定的に捉えて頂く。そのためにより一層このような取り組みを力強く行って参ります。

参議院議員 牧山ひろえ事務所

【立憲民主党神奈川県参議院選挙区第1総支部】
TEL 03-6550-1007 FAX 03-6551-1007
E-Mail hiroe_makiyama@sangiin.go.jp
横浜市中区相生町1-7 和同ビル403号室
東京都千代田区永田町2-1-1-1007



☆各種SNSへのアクセスは、こちらのQRコードからお入り下さい。



国会での活動が評価され「三ツ星議員」を3度受賞

「いのちを守る、みらいを創る。」
20年のあゆみ。そして「これから」

政治活動 20年の報告 牧山ひろえ

まきやま

2005-2025

参議院議員
経済産業委員長
国際弁護士
二児の母

国のかたちと未来

生活(暮らし)雇用/経済(しごと)

いのちを守る、みらいを創る。

牧山ひろえの5つのテーマ

健康と老後

平和と安全

ママ・パパ子ども

食料品消費税

0%

立憲民主 RIKKEN MINSHU
The Constitutional Democratic Party 号外
立憲民主編集部 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-12-4 ふじビル3F
Tel. 03-6811-2301 Fax. 03-6811-2302
rikken@cp-japan.net http://cdp-japan.jp/

麻生総理にカップラーメンの値段を聞くことをきっかけに「生活者の苦しみを軽減するために、輸入小麦の値段を下げてほしい」と要望。

翌年政府は、2度にわたり小麦の価格を引き下げた。

前進



労働分野

◆ 非正規の拡大抑止 を繰り返し主張

雇用関係の安定が暮らしの安心に直結
非正規の平均年収は正規労働者の4割

ではどうする?

★「望めば正社員になることのできる社会」の実現を!

雇用基本法の成立

基本理念として、「期間の定めのない直接雇用」が就業の基本(=であり「まっとうな雇用」)であると規定する。

非正規の入り口規制

すなわち労働者派遣法改悪を見直し(厳格化し)、非正規の拡大に歯止めをかける。

◆ 最低賃金

最低賃金の大幅底上げ、全国一律化(地域別最低賃金制度の廃止)の導入、産業別の「特定最低賃金」の積極活用を提案(2018年)

その後の最低賃金上昇の一因となる。

実現

「住」のセーフティネット強化

- ・国からの「住宅手当」の拡充を後押し。
- ・住宅扶助の代理納付制度の積極的な活用を提案。(2012年)
- ・「住居確保給付金」の対象をクレジット払いへ拡充。(2020年)

実現

価格転嫁への取り組み

特に人件費についての価格転嫁は景気の下支えになることを指摘し、政府の取組を強く求める。



未来を創る! めざす「これから」

労働者の待遇改善や中小企業のコト入力で日本経済を元気に



「総理、このカップラーメン、いくらかご存じですか?」
(2008年10月28日 外交防衛委員会)

適正な財政運営の実現

財政金融委員会 野党筆頭理事として

2020年
2022年

- ・コロナによる放漫財政ストップを訴え、コロナ名目の無駄遣いをやめる(ワイスペンディング)よう要請。
- ・いち早く異次元金融緩和からの「出口戦略」策定の必要性を主張。
- ・「失われた10年」の原因である「アベノミクス」を総括すべきと強く主張したが、鈴木財務大臣は、総括を行う意思がないと答弁。財政運営の与野党の対立軸が明確に。
- ・環境等社会貢献を考慮して投資先を選ぶESG投資について、客観的な判定基準である社会貢献指標の策定を主張し、実現させる。(2022年)

実現

免税店の拡大によるインバウンド振興

免税店の開設は空港に限定されておらず、実は街中でも可能であることを、影響力のある予算委員会で指摘(2011年12月6日)。免税は、店側にも国内消費にもメリットが大きいので、この発言は大きな経済効果があった。

免税店事業者数の大幅拡大へ



国土交通省観光庁資料より

前進

災害対策

災害対策特別委員会 理事として 2011年
2014年

災害ボランティア

東日本大震災等、災害発生時に一介のボランティアとして現地に入り、現地の状況に即した提言を行う。
～尊敬する緒方貞子さんの「徹底した現場主義」を実践

災害警報の改善

課題 災害の種類ごとに細分化している警報は、わかりづらい。
提案 災害時の警報・注意報等の情報発出については、地震も竜巻も噴火も大雨も津波も、例えば「震度」のように「数値」で危険度を表現するなど、わかりやすく統一した形にすべき。(災害特別委員会にて)

何度かの変更を経て「災害の種類を問わず共通した基準」を導入。(2021年)
新たな避難情報 現在警報時は、大雨・高潮等の種別を問わず、警戒度を数値で表現

警戒レベル	新たな避難情報等	これまでの避難情報等
5	緊急安全確保 #1	災害発生情報 (緊急を要するときに発令)
4	避難指示 #2	避難指示(緊急)・避難勧告
3	高齢者等避難 #3	避難準備・高齢者等避難開始
2	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	早期注意情報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)

改善



「被災地でボランティアの作業を計画し、振り分ける人が足りない。コーディネータ役を果たせるリーダーを育成すべきだ。」
(東日本大震災発生後、被災地ボランティア従事中の取材に答えて(2011年))



災害対策委員会理事として被災地入り、現地事情や課題を調査。

外交・安全保障

「集団的自衛権」容認の強行採決を阻止するためダイブ!

「この法律が通ってしまうと、子どもたちに戦争の危険が近づく。それだけはなんとか止めなければ、そのためには委員長が法案の可決を宣告するのを防ぐためにマイクを押さえるしかないという思いで頭がいっぱいでした。ふと視線を上げると人波の前方に人がいない穴が空いていたので、無我夢中でその穴に飛び込んだんです。」
(2015年9月17日 強行採決の翌日、取材に答えて)



平和創造外交

国際局長(民主党・民進党当時)として

- ・議員外交をベースとした「野党外交」を提唱し、実践。
- ・閉鎖的な秘密外交から、対話・信頼・多元化(マルチトラック)を軸とする平和外交へ。
- ・安全保障におけるソフトパワーの重視と活用。



ケネディ米大使 アーダーンNZ首相 トラス英首相

在日米軍基地問題

「対等なパートナーとしての日米関係」を構築するため、地元の基地負担軽減を、そして日米地位協定の改定を繰り返し提起。

母子手帳の普及を提言

アフリカ開発会議 横浜誘致推進協議会 顧問として

日本発祥の母子手帳は世界の貧しい地域の母子保健の向上に繋がると発想し、各方面に働き掛ける。

横浜開催の「アフリカ開発会議(TICADIV)」で母子手帳の普及が大会宣言に採り入れられる。

アフリカ各国の要人と個別会談を重ね、発展途上国での母子手帳普及の契機となる。(2008年)



実現



未来を創る! めざす「これから」

災害に強い国づくりと、議員外交による平和構築に努めたい

新しい社会課題 ヤングケアラー

『(問題解決には)ヤングケアラー単独ではなく、ヤングケアラーを取り巻くご家族ごと家庭環境ごと包み込むような取り組みが必要です』

(予算委員会2023年3月13日)

ヤングケアラーとは
家族の介護やケア、身の回りの世話を担う18歳未満の子どものこと。自由な時間が取れず、学業や進路に影響を及ぼすだけでなく、健全な発育や人間関係の構築を阻むとされている。



ヤングケアラーを特集した「Abema Prime (アベマプライム)」に生出演。(2024年)

牧山ひろえ 立憲民主党 参議院議員「ケアラー支援法」の成立目指し活動 ネクスト法務大臣

ヤングケアラーどう支援? キャンプに多様な声

ヤングケアラーの問題を国会で集中的に取り上げ、この問題が世に出るきっかけとなる。結果、「ヤングケアラー」という概念が初めて法律上で定義付けされた。(2021年)

今後の目標
ヤングケアラーの介護負担を軽減するため「ヤングケアラー支援法」の制定を目指す。

立民・参院議員 牧山 弘恵氏

ヤングケアラー 政策を聞く

負担意識促し早期に発見

生を含まない。実態はもっと多いだろう。政府の経済財政運営と改革の基本方針(骨太の方針)でヤングケアラーを取り上げたのは評価する。早期発見、相談支援、社会的認知度の向上を掲げた。対策は十分とは言えない。自分が権利を奪われているという意識がなく、育児も介護も家族の一員として当然だと思込んでいる場合もある。学校教育の中で自覚を促し早期発見につなげるべきだ。国がもっと主体的に動く必要がある。将来的には先進諸国にならう。国に包括的な政策を義務付ける「ケアラー支援法」を制定したい。必要な対策は多岐に及ぶ。ヤングケアラーの負担を減らすには例えば介護の担い手不足解消が必要だ。介護士の待遇を改善する必要がある。

共同親権
離婚後、関係が険悪となった父母による親権の共同行使が強制されることにより、子どもの利益が害されるリスクが生じる。それを回避するため、法務委員会筆頭理事として、15項目にわたる附帯決議を取りまとめた。(2024年)

ひとり親家庭支援
教育訓練給付制度の適用拡充を「ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金」として制度化(2013年)

少人数学級
・教員増加と少人数学級の実現を繰り返し主張。66年掛けてようやく小学校35人/中学40人学級に到達。少子化を契機に改めてさらなる少人数学級体制を目指す。

年度学級編制の標準内容

S34'~S38'	50人
S39'~S54'	45人
S55'~H22'	40人
H23'~R2'	小1:35人 小2~中3:40人
R3'~R7'	小:35人* 中:40人

*小学校第2学年から第6学年を40人から35人に5年掛けて引き下げ

社会的養護の推進

「子どもの社会的養護(特別養子縁組)制度検討WT」事務局次長として

・実親を失った保護すべき子どもを、施設での養護から、家庭環境での養護へのシフトさせる。これを推進するために、「特別養子縁組」制度を改善する議員立法を成立させた(議員立法発議者)。(2016年)



児童養護先進国イギリスを訪問。「ハリー・ポッター」の著者J.K.ローリング氏が家庭養護の推進を目的に創設した英国の国際的NGO「ルーモス」など養護の現場を視察し、専門家や有識者とも面談。



特別養子縁組とは…
子供の福祉の増進を図るために養子となる子供の実親(生みの親)との法的な親子関係を解消し、実の子と同じ親子関係を結ぶ制度。

今後の目標
家庭養護の受皿を拡大するための「里親制度の改善」や施設を退所した「ケアリーバー」がその後もハンディを背負い続けている問題にも取り組んでいく。

本人には責任のない生まれの違いでその後の人生まで大きな差異が生じることがあってはならない。

保護を要する子どもの発見

厚生労働委員会 理事として

◆こどものSOSの一元化
イジメ、虐待、不登校…子どもを苦しめる要因は数多く、子どもからのSOSを受ける窓口も、縦割りの弊害そのままに多くの番号が存在する。

◆子どもに関する情報を共有
政府、自治体、学校、NPO等が持つ、子どもに関する様々な情報を共有・一元化し、保護を要する「子どもの貧困」や「ヤングケアラー」の発見に繋げる仕組みを構築。(2021年) (政府が導入の意向)



病児保育の充実
仕事と子育ての両立には、保育と病児保育はセットで考えるべきであることを委員会等で指摘。

・病児保育施設数の増加に繋げる。



みらいを創る! めざす「これから」
どんな家庭に生まれても等しく学べる環境を

4 守る! 健康と老後

新型感染症
「コロナ」との戦い

『大至急マスクを乗客・乗員全員に 十分配布されたい。また、乗客・乗員らが 日ごろ飲んでいる薬の 迅速かつ十分な供給が 必要である。』

(「2020年2月13日付で
厚労省 新型コロナウイルス対策担当に
牧山が宛てた申入書より。)



ダイヤモンド・プリンセス号

乗客に新型コロナウイルスの感染が発生し、2020年2月に横浜港に入港したクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」号は、政府が船内の状況を把握できておらず、さらに感染症対策の基本に合致しない措置がまかり通っていた。地元議員として情報収集のため、牧山は自身の携帯番号を、船内の複数の乗客に対し、アクセスフリーにしたところ、「英語が通じて、船内の状況を直接聞いてくれる国会議員がいる」ことが広まり、電話が殺到。牧山は、リアルタイムで聞き取った船内の状況と乗客の声を元に事態の改善を政府に訴え、環境改善につなげた。

改善を訴えた内容

クルーズ船対応

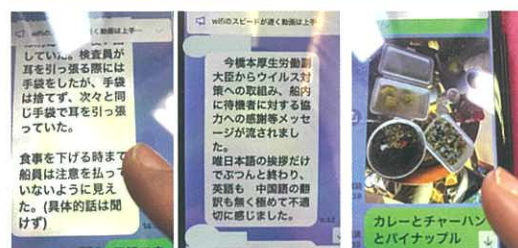
【改善前の状況】

- ・当初、客同士を隔離せず、対面のゲーム(麻雀やトランプ)や船内劇場での観劇を促したり、食事をバイキング式で提供したりしていた。
- ・外国人乗客が大部分であったにも関わらず、薬の提供等の重要なお知らせも含め、**伝達等は日本語のみ**だった。
- ・検温の際に、接触式の体温計を消毒もなしに使いまわし。
- ・食事の提供の際に、ラップ掛けやスタッフのマスク着用も徹底されていなかった。

これらの問題の
改善を要望。



ダイヤモンド・プリンセス号への医療提供



スマホでの乗客との連絡

食事の提供の様子
が分かる

その後のコロナ対応

- ・**ワクチン接種の対価や診療報酬を適正化し、ワクチン接種体制の迅速な整備に寄与。(2021年)** 改善
- ・**雇用調整助成金の拡充。** 実現
- ・感染症への不安や恐怖に起因する受診控えや偏見・差別への対応を求める。
- ・新型コロナ及びワクチンに関する後遺症への対応をいち早く提案。

新感染症の脅威から、子どもたちの「学び」を守る! 強く働き掛けました!(2020年~)

- ・学校再開前に、教育機関に向けて感染防止資材(マスク等)の調達並びに配布を要請。
- ・再開後の教員の負荷軽減や教員数増加施策を主張。
- ・**コロナ感染防止を徹底するため、学校現場への感染症の専門家派遣を提案。(2020年)** 実現
- ・**コロナ期間中の教員免許の更新講習を猶予すべきと主張。**

教員免許の有効期間を最長で2年延長する通知が発出される。(2020年) 実現
それがきっかけに「**教員免許更新制度**」が廃止に! (2022年) 実現

教員不足にも効果が!



国民皆保険



日本では、質の高い医療が比較的手頃に得られます。それは海外から見ると当たり前ではなくすごいこと。それを可能としている日本の「国民皆保険制度」は、世界に誇るべき宝物なのです。

国民皆保険の堅持

厚生労働委員会理事として 2012年
2016年

- ・TPP交渉等に際して、質問主意書等で国民皆保険制度の堅持を強く訴える。 改善
- ・国民皆保険堅持の障害となる「混合診療」導入につながる危険のあった「選択療養制度」を撤回させる。 実現
- ・国民皆保険の重要な担い手である健康保険組合への支援にも力を尽くす(健保財政を圧迫し、現役世代に過大な負担となる拠出金の上限設定を主張)。 継続



健康・医療に関し53本の質問主意書を提出

質問主意書による多角的アプローチ

健康に関わる医療や介護などについて、なるべく多角的に関与するため、歯科、HIV、認知症、発達障害など個別の疾病や健康関係の事象等への対策も含め、「医療・介護」分野について、**53本もの質問主意書**を提出しています。

質問主意書

「**文書での国会質問**」。内閣は閣議決定の上、回答義務を負うので、所属委員会の枠にとらわれず、国会が内閣をチェック・是正出来る議員活動の武器。

健康・医療に関し提出した主な質問主意書

- ・病院の安全に関する質問主意書
- ・**子宮頸がん予防ワクチン**による健康被害の救済に関する質問主意書
- ・医療に関する適切な税制に関する質問主意書
- ・介護サービスを取り巻く環境整備に関する質問主意書
- ・高齢者に対する**在宅歯科診療**の推進に関する質問主意書
- ・**HIV感染症**を減少させるための医療政策に関する質問主意書
- ・公的医療保険制度の維持に関する質問主意書
- ・**発達障害**を巡る諸課題とその対応策に関する質問主意書
- ・**認知症問題**の改善に関する質問主意書

- ・医療崩壊を防止するための設備面での医療提供体制に関する質問主意書
 - ・**筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群(ME/CFS)**に関する研究の促進と治療体制の確立に関する質問主意書
 - ・**金銀パラジウム合金の逆ザヤ問題**の根本的解決に関する質問主意書
- 等々



その他、健康と老後を守るための行動

医療の質を守る

- ・繰り返し当局へ要請を行い、**診療報酬を適正なレベル**に引き上げ、危惧された医療崩壊を阻止。 実現 (2012年)
- ・**医薬品品薄問題の解決**へ、一回の処方について日数制限を行う旨の具体的提案を行い、**実現**(厚労省から通知として発出)。(2023年) 実現

介護の充実をめざす

- ・介護人材確保のため大胆な待遇改善を提案。
- ・**ビジネスケアラー**の両立対策の重要性を指摘。
- ・**複合介護**(老々介護、認々介護、ダブルケア等)の支援を提案。
- ・医療・介護人材の派遣・紹介等人材サービス規制について問題提起。
~全国の病院から約340億円が人材あっせん会社に支払われている現状を問題視。



みらいを創る! めざす「これから」

国民皆保険を堅持し、幸せに歳をとれる国を目指す

「新しい公共」と寄附税制

「アメリカでの生活経験から、日本の寄附制度を改革して個人が寄附しやすい環境を整えれば、寄附の文化が広まり、結果として公益性の高いNPOの活動を活性化できるのではないか。と、『制度が文化を創る側面に着目』したのです。」

(民主党神奈川県連が主催した「新しい公共」「新寄附制度」の勉強会での講演から)



「新しい公共」と寄附税制

新しい公共推進会議 副会長(民進党)として

・災害支援などの公共サービスなどを担ってくれる認定NPOへの寄附が集まるように、1セントから寄附控除が可能な米国を例に、寄附控除の適用下限額を2000円に引き下げた。(2011年)

実は現在の「ふるさと納税」の控除額(実質負担額)2000円はこの法改正が根拠。

「いずれの改革案も牧山さんが当選以来訴えてきたこと」と“認定”(神奈川県新聞2010年3月6日)。牧山が「新しい公共」の仕掛け人であることを、予算委員会で答弁に立った峰崎直樹財務副大臣(当時)が認める。

共生社会の実現

日本の未来の可能性を開くのは「共生」の精神

ネクスト法務大臣&法務委員会野党筆頭理事として

外国人との共生



「難民問題に関する議員懇談会(難民懇)」での活動

就労外国人との共生の実現

「現代の人身売買」と言われた労働者派遣法の改正を訴える。さらなる人手不足に備え、外国人労働者から選ばれる日本を目指す外国人労働者安心就労法案の提出に携わる。

・外国籍で在留資格を持たず退去命令の対象となっていた18歳未満の日本生まれの子ども212人に付き、在留特別許可(在特)を発出させる。(2023年)

・内定したのに就職出来なかった仮放免外国人青年にも在留特別許可を取得。(2024年)

入管・難民法改悪阻止の取組

・日本が難民保護の国際的責任を果たしていない状況を国内外に発信し問題提起。

・日本語、英語、フランス語の説明動画をYoutubeで公開。ジュネーブで開催された「グローバル難民フォーラム」(2023年)にて、主要関係者にこの動画を使いロビー活動を行う。



3ヶ国語の説明動画

障害者との共生

・障害者福祉サービスの「食事加算」中止を撤回させ、存続に持ち込む。(2018年)

民主主義の先進国に

「在外投票率2%の惨状をネット投票で打開すべきだ」

(2022年3月30日の参議院倫理選挙特別委員会)

ネット投票の推進

・ネット投票の技術的検証や調査研究を投票率が著しく悪い在外投票から、と提言。政府で検討開始。

在外選挙 投票環境の向上

在外投票を推進する議員連盟 事務局次長として

改善前 海外有権者は在外投票のために大使館まで出向き選挙人登録が必要だった。

改善後 ビデオ通話での手続が原則可能に



低投票率の改善、選挙制度改革

倫理選挙特別委員長として 2014年-2016年

同筆頭理事として 2021年-2022年

・委員長として選挙権年齢の18歳への引下げを取り仕切る。

・被選挙権年齢(立候補年齢)の引下げに世界の投票率向上への取り組みを研究・出版



「国民総政治家:税金の使い道はあなたが決める。」著:牧山ひろえ

若者が政治を考える教育を民主 牧山弘恵氏

「政治家の役目は、若者の政治に対する関心と呼び覚ますことだ」(14日の参院予算委員会) 民主党の牧山弘恵氏(48)は若者の投票率を上げる工夫として、ルウェーの模擬投票の事例を挙げた。模擬投票には8割の高校生が参加し、メディアが報じる投票結果は親世代への影響も大きい。投票に向けて生徒会は地元候補者による討論会を開き、政党も若者

を意識した政策を打ち上げるなど相乗効果もある。牧山氏は「若者が十分に教育については議論になっていない」と指摘し、日本でも模擬投票を全国的に導入するよう迫った。これに対し、安倍晋三首相は「未来を決める一環である中で、ご指摘の試みも検討する」と前向きに答弁。牧山氏は質問後、「若い人たちが『自分のために決める』という流れを作りたい」と語った。(王佐虎生)

現実の選挙を素材にしたリアルな模擬投票「スクール・エレクション」による主権者教育の必要性を訴える

朝日新聞2023年3月13日掲載 参議院予算委員会



みらいを創る!めざす「これから」

日本を人権と民主主義の先進国に!

6 守る! 私たちの地元、神奈川県

党神奈川県連 代表代行 兼 組織団体委員長として

横浜港をハブ港に

予算委員会などで、京浜港の国際競争力強化への取り組みを繰り返し政府に要望。京浜港が国際戦略コンテナ港湾に選定され(2010年)、安倍首相より「港湾の国際ランク1位を目指す」との答弁を引き出す。(2013年)

その後の横浜港の大規模整備等につなげる。

旧神奈川口構想

羽田空港の再拡張・国際化事業に伴い、多摩川の川崎市側と羽田空港を結ぶ連絡道路の整備を中心とし、羽田空港周辺の再開発プロジェクト(神奈川口構想)について地元から強い要望があった。牧山はそれを受け、質問主意書によって「一定の進展」が必要との認識を勝ち取る。(2009年4月28日提出 質問主意書に対する答弁書)

カジノ横浜招致阻止の一翼を担う。(2022年)

政府機関の移転阻止

「中央省庁の地方移転」の対象となった、消費者庁、JAXA、防衛大学校等の神奈川県からの移転について、「神奈川県の地域活性化」の足かせになりかねないため移転に反対。地元各級議員と連携し、移転を阻止。(2016年)

司法サービスの充実を訴える

幅広い範囲の裁判を身近な裁判所で取り扱うことを可能とする相模原での合議制裁判の実施や藤沢の家庭裁判所等、県内の司法アクセスの改善を法務委員会や質問主意書で繰り返し主張。

川崎市殿町(スカイフロント)と羽田空港をつなぐ「多摩川スカイブリッジ」が開通。(2024年3月)



多摩川スカイブリッジ

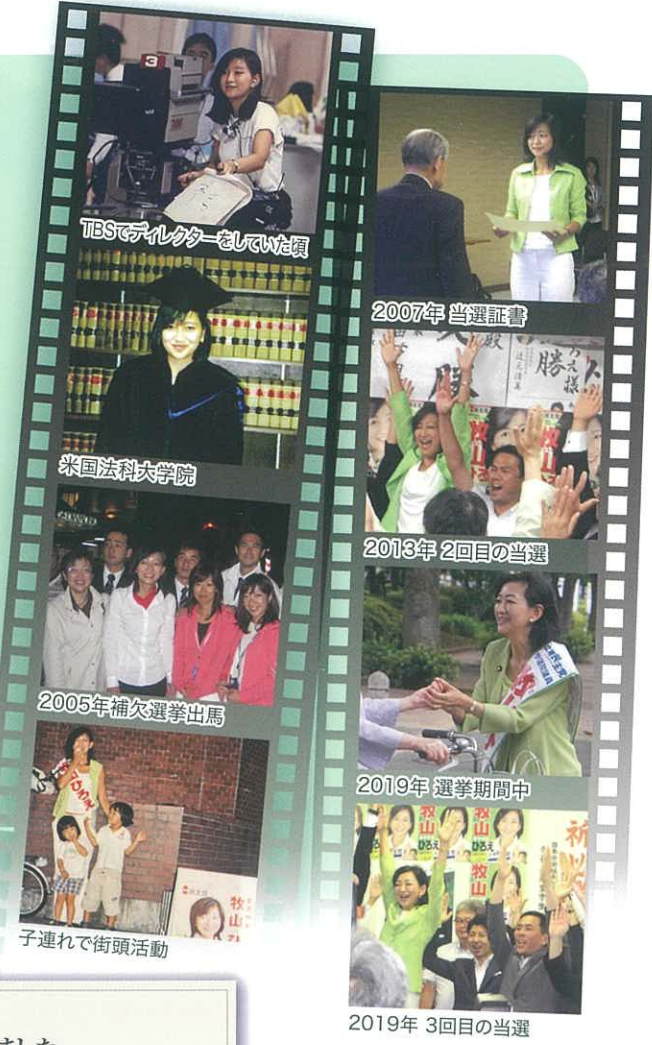


みらいを創る!めざす「これから」

私たちのふるさと神奈川県を日本一住みよい地域に

牧山ひろえのあゆみ

- 1964年 母子家庭で育つ。天秤座O型。母妹と3人暮らし。小学校の頃、いじめを苦に転校。
 - 1987年 国際基督教大学(ICU)教養学部語学科卒業。TBS入社(TVディレクター)。
 - 1991年 米国トーマス・クーパー法科大学院修了(juris doctor)。
 - 1993年 米国司法試験合格(ニューヨーク州・コネチカット州)主にニューヨークの法律事務所働きながら弁護士活動、その後帰国し、松竹(株)、現ユニバーサルミュージック(株)などで企業法務に携わる。働きながら子育てに奮闘。
 - 2005年10月 民主党から公募で、斎藤つよし元参議院議員の辞職に伴う参議院議員補欠選挙(神奈川県選挙区)に出馬。765,589票を獲得しながら惜敗。
 - 2007年7月 参議院議員選挙(神奈川県選挙区)にて初当選。1,010,866票をいただき、全国でもトップ当選。
- 現在 参議院議員3期目。参議院経済産業委員長及び立憲民主党神奈川県連代表代行。アムネスティ議員連盟事務局長などを務める。



仕事に関してはこんな経験もしてきました。

○スタジャン売りの経験
17歳の頃、職がなかった母と、畳一畳分ぐらいの零細店舗をオープン。ジュース屋→チョコバナナ屋→クレープ屋と失敗を繰り返した後、スタジアムジャンパー屋に行きつく。

○最初の就職先
TBSでは朝のワイドショー「モーニングEye」のディレクターとして勤務。元々TBSを志望したのは、兼高かおるさん(元祖海外レポーター)に憧れたため。
TBS入社を夢見て、学生の頃から文化放送「百万人の英語」で小林克也とレギュラー共演するなど、メディアでの体験を重ねた。



2024年本会議登壇



倫理選挙特別委員長として選挙権年齢の引き下げを取り仕切る。(2015年)

過去の役職

参議院役職
参議院環境委員長、倫理選挙特別委員長、図書小委員長、厚生労働委員会野党筆頭理事、財政金融委員会野党筆頭理事、法務委員会野党筆頭理事等を歴任



立憲民主党常任幹事会議長に就任(2021年)

党役職
党常任幹事会議長(党本部の執行役員)、党参議院議員会長代行、党国際局長(民進党)ネクスト法務大臣、ネクストデジタル行政改革・公務員改革担当大臣等を歴任。



野田ネクストキャビネット第一回閣議(2024年)

- 資格・免許**
- ・米国弁護士(ニューヨーク州・コネチカット州)(1993年取得)
 - ・(日本の)教職員免許(英語)(1986年取得)
 - ・米国不動産セールス免許(1988年取得)

- 家族**
- 夫、息子、娘の4人家族
 - 夫は金沢区の金沢中学、藤沢市の湘南高校卒

牧山ひろえ後援会

- 最高顧問 興石 東 (元参議院副議長) 副会長 嘉村 孝 (弁護士)
- 顧問 斎藤 勁 (元内閣官房副長官) 副会長 佐藤 重夫 (社労士後援会会長)
- 会長 千葉 景子 (元法務大臣) 副会長 三木 茂昭 (会社経営)
- 幹事長 高岡 俊之 (元神奈川県弁護士会会長) 副会長 安友 千治 (行政書士後援会会長)
- 副会長 小野 啓輔 (動物保護活動家 オノ・ヨーコさん実弟) 副会長 横濱 英紀 (税理士後援会会長)
- ※敬称略



牧山ひろえ後援会役員会

牧山ひろえってこんな人

- あだな 「マッキー」。本人もお気に入り。
- 政治の師 藤井裕久元財務大臣。ご逝去に至るまで初代後援会会長として牧山を守り育ててくれました。
- 趣味 リーズナブルでおいしい店を探すこと。会食の会場選びは秘書ではなく牧山の仕事。
- 苦手なこと モノを捨てること。戦争を体験した祖父母に「モノを大事にするように」と育てられたため、物を捨てられない性格に。自分の子供にはお古の洋服や玩具しか与えられない。湿気たパンやお菓子をよみがえらせるのが得意。
- スポーツ マラソン。小さいときにベビーカーから飛び降りて左足骨折したが、フルマラソン(ホノルルマラソン)を完走した。足の筋も切れているので、時々コケる。ダイブマスター免許所持。



藤井裕久 元後援会長

牧山ひろえとりびあ

- 語学力 英語はネイティブレベル、フランス語も通訳なしで国際会議等で発言してきた。
- 得意料理 「手抜き料理」
- じつは汗っかき カレーを見ただけで汗が止まらなくなり、お化粧が取れる恐れから、カレーは1人で食べる。
- 葡萄会 27歳の時、世界にワクチンを送る団体「葡萄会」を立ち上げ、当時若かりし頃の海江田万里元衆議院副議長や新浪剛史経済同友会代表幹事など今では各界を代表する人物に賛同を得て、共に活動してきた。
- 意外性 ミステリーや恋愛小説を書くのが趣味。
- ペット歴(犬) セントバーナードの「ベンジャミン」プードルの「プータン」と「アンドレ」ポメラニアン「ブランディー」



子供と

福島原発(暴発阻止)行動隊と牧山ひろえ

3.11大震災翌日、原子力発電事故収束のために何かしたいと事務所に飛び込んで来た退職エンジニアの想いに共感し全面協力しました。十数年たった今でも支援を続けています。

「牧山ひろえ氏は、私たちに手が届きにくい国政の世界への道案内と働きかけを、私たちが『手を取り合って』、そして『政治生命』をかけて引き受けてくださっています。」
(公益社団法人 福島原発行動隊 初代創設者 山田恭暉氏)

「彼らはやりたくてやろうとしているわけではなく、やらなければならない」と思っているのです。(中略)

福島原発行動隊 今、この国に必要なこと

山田恭暉 一編著



被曝による社会への影響を可能な限り少なくしたい
山田恭暉(福島原発行動隊 理事長)

さわやかな志と 凛とした情熱のもとで
山折哲雄(宗教学者)

老人の頭脳と技術こそが 生き返る日本の誇り
高橋三千綱(作家)

高い志を持った人たちの 活動を支援したい
牧山ひろえ(参議院議員) 批評社

(行動隊のような活動について)日本の中に、こうした貴重なボランティア精神あふれる活動が定着していくために必要なことだと考えています。(ニューヨークタイムズ紙に掲載された牧山のインタビュー)

「被曝が必至な福島原発事故の収束作業には、将来がまだ長い若い人たちに任せざるを得ないなら、技術的ベテランでもある私たち高齢退職者が行くしかないのです。」

「福島原発行動隊 今、この国に必要なこと (批評社・牧山共著)」

牧山ひろえの思い

幼少時の体験から、公益性の高いNPOや志を持った人たちの活動を支援するのが夢でした。国境なき医師団などを支援する団体「葡萄会」を立ち上げ、十数年続けた理由でもあり、政治の世界に飛び込んだ動機付けの一つでもあります。福島原発事故という史上初めての非常事態を前に、どんなに難しい問題に直面するとしても、この人たちの活動を支えなければ…。という思いが私を動かしました。

年始の初登壇にて